

## 緑鳳学会第30回大会（2021年度） パネルディスカッションの概要

### SDGsが求める経済社会と人材育成 —withコロナ／afterコロナを考えるヒント—

座長・小西 範 幸

## 解題：SDGsが求める経済社会と人材育成

### 1. はじめに

専修大学緑鳳学会の第30回記念大会が2021年10月23日（土）に開催された。その中で、13時30分から17時までハイフレックス方式で、「SDGsが求める経済社会と人材育成 —withコロナ／afterコロナを考えるヒント—」の統一テーマで、4人のパネリストを得てパネルディスカッションを行った。

ここでは、その趣旨、各自の報告テーマ、報告の骨子を整理してみて、各自が投稿している原稿を理解する一助となるようにしたい。

### 2. 趣旨

SDGsの達成に向けて、将来世代の便益を最大化するための複合的な価値を実現する経済社会へ変革が不可欠となっている。それには、人文・社会科学から自然科学に亘る「総合知」の創出と分野横断的な知見が必要であり、それに見合う人材育成が求められる。

本パネルディスカッションでは、経済学、経営学、会計学、データサイエンスの分野から、SDGsが求める経済社会と人材育成について話し合ってみる。

### 3. 報告タイトル

まず、コーディネーターの小西から本パネルディスカッションの解題を10分ほどで説明した後で、2時間40分間で15分の休憩をはさんで、次のタイトルで各自が報告を行った。全員の報告が終わってから、オンライン・フロアの佐々木重人・専修大学学長を交えて50分間の意見交換を行った。

池本正純（専修大学名誉教授）：企業家機能とキャリア教育

藤田幸敏（愛知学泉大学教授）：渋沢栄一にみる企業経営と歴史教育

小西範幸（青山学院大学大学院教授）：サステナビリティ情報の開示と専門職教育

宇佐美嘉弘（専修大学准教授）：データサイエンスとAI教育

#### 4. 骨子

報告では、以下の通り4つのテーマに沿って各自が意見を発しており、その後、フロアーを交えた意見交換を行っている。

##### ①サステナビリティと経済学、経営学、会計学、データサイエンスとの係わりについて

池本：マーシャル経済学に学ぶ（視野の広さと深さの重要性）

藤田：渋沢に学び、渋沢を超えて

小西：サステナビリティ情報開示の国際的動向

宇佐美：データを見ることの重要性

##### ②SDGsの達成に必要な経済社会システムあるいは技術イノベーションは何ですか

宇佐美：情報技術のイノベーション

小西：ステークホルダーを対象とした情報開示

池本：ガバナンス改革

藤田：新しい企業の在り方

##### ③それぞれの分野で必要なりテラシーとは

藤田：企業経営における社史（歴史）の重要性

池本：課題発見・解決力（イノベーションを生み出すマインド）

宇佐美：データリテラシー（データを読む、説明する、扱う）

小西：定性・定量情報の分析（テキストマイニングの活用）

##### ④SDGsの達成に向けた人材育成のあり方について

小西：会計大学院協会と文部科学省中央教育審議会大学院部会での取り組みの紹介

藤田：経営に携わる者の意識改革

宇佐美：専修大学での取り組み（専修大学SDGsチャレンジプログラム、数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度申請）

池本：キャリア教育（生きがいとは何か、志を育てること）